

グリーン いしかがわ



Green Ishikawa No.143

f 全農いしかわ公式
Facebookページ

全農いしかわの公式Facebookページ
「石川うまれがだいすきさ」

県産農畜産物やJA加工品、イベント
情報などを掲載中!ぜひご覧ください!

URL : www.facebook.com/ishikawaumare.daisukisa



Green Ishikawa Contents

▶News&Topics

- J A全農 令和3年度事業計画のあらまし
- 石川県本部 令和3年度事業計画
- J A全農杯全国小学生選抜サッカー大会 IN 北信越
- エアリーフローラ
～旅立ちを祝う花、花言葉は「希望」～
- 能登原木しいたけ「のとてまり・のと115」
～能登の自然が育んだ最高級椎茸～
- 令和3年産向け
各地区「ひゃくまん穀」生産者大会を開催
- 令和2年度
TAC・JA施肥防除合理化モニター協議会 研修会
- 農産物直売所創意工夫陳列キャンペーンの開催
- 農機お買得市の開催

▶お知らせほか

- Beishinおこめキッチン
- J Aホーム
- ひゃくまんぞく亭

JA全農 令和3年度

情勢認識

1. 新型コロナウイルス感染症の拡大による農業現場および消費行動の変化（労働力不足、内食化、eコマース・宅配ニーズの拡大、衛生意識の高まりなど）
2. 国内人口・農業就業者の減少や農地集積などの進展
3. 農畜産物や生産資材の円滑な流通体制維持への懸念
4. 政府による「食料・農業・農村基本計画」の決定（多様な経営体の活躍促進、輸出拡大など）
5. JAの信用・共済事業の収益低下と、経済事業の早急な収益改善
6. 自然災害や重要家畜疾病の度重なる発生
7. 社会的な課題をふまえたSDGs（持続可能な開発目標）に対する取り組みの要請
8. デジタル化の進展にともなう農業での多様な先端技術の導入・普及

最重点事業施策

生産基盤の確立

1. 労働力支援や担い手の育成
 - (1) 農作業受委託や農福連携などによる労働力支援やブロック協議会での広域連携
 - (2) 新規就農者研修事業の実施や実践型研修農場の運営を通じた新規就農者の育成
2. 農業現場での取組強化
 - (1) 「Z-GIS」や「ザルピオフィールドマネジャー」等のスマート農業技術の普及による生産性向上、「ゆめファーム全農」における大規模施設園芸技術の実証
 - (2) 堆肥や飼料作物を循環させる耕畜連携の実践
 - (3) 輸出・加工業務用向け農畜産物の産地づくりの強化
 - (4) 牛舎賃貸事業の拡大や搾乳の超省力化モデルの実証を通じた家族経営支援
3. 物流合理化と購買品目の競争力強化
 - (1) 青果物の広域集出荷施設や産地ストックポイントの整備、米の統一フレコンの導入・普及
 - (2) JA資材店舗の再編・整備への支援や共同運営
 - (3) 中型共同購入トラクターの供給拡大や全国標準規格段ボール箱への集約

食のトップブランドとしての地位の確立

1. 商品開発力・ブランド力の強化と需給調整機能の発揮
 - (1) グループ販売会社やファミリーマートなど資本・業務提携先との連携強化、「全農グループMD部会」による商品開発
 - (2) 生乳流通の需給調整機能の発揮と、業務用生乳の安定販売
2. コロナ禍の消費者ニーズ等をふまえた対応
 - (1) JAの出店促進による品揃え拡充と会員向け特典プログラム導入などの販売促進強化によるJAタウン取扱拡大
 - (2) 冷凍青果物の製造や実需者への共同配送等の機能を有する大消費地販売に向けた事業拠点整備
 - (3) 青果物の包装・加工・冷蔵機能などを有する、地域における直販施設の整備・拡充
3. 実需者ニーズにもとづく生産提案と契約栽培
 - (1) 実需者ニーズに応じた多収米等の契約栽培の拡大
 - (2) 大手製粉会社との提携による国産小麦の安定的な需要確保と生産拡大
 - (3) 資本・業務提携先を含む実需者への安定供給に向けた、加工・業務用青果物の契約栽培の拡大



事業計画のあらまし

基本的な考え方

～3か年(元～3年度)計画最終年度～

《最重点事業施策の加速化》

- ①生産基盤の確立
- ②食のトップブランドとしての地位の確立
- ③元気な地域社会づくりへの支援
- ④海外戦略の構築
- ⑤JAへの支援強化

《情勢をふまえた本会の対応》

コロナ禍における生産・消費の変化への対応

自然災害・重要家畜疾病からの復旧・復興

「食料・農業・農村基本計画」に対応した施策展開

グループ会社と一体となった事業競争力強化

SDGs(持続可能な開発目標)への取り組み

元気な地域社会づくりへの支援

1. 地域のくらし支援強化
 - (1) ファーマーズ型店舗の拡大による地産地消の取組強化、Aコープ会社の事業基盤強化
 - (2) 宅配事業や買物インフラ維持支援の拡大、農泊のモデル展開などライフライン事業の取組強化
2. 燃料供給体制の維持・強化とホームエネルギー事業の取組強化
 - (1) セルフSSの設置やガスキャッチの普及拡大
 - (2) 組合員家庭向け電力供給や再生可能エネルギーの普及・拡大

JAへの支援強化

- (1) JA経済事業の部門・場所別収支分析をふまえた、全県本部における「経済事業強化メニュー」の提案と実践
- (2) 他連合会等と連携した「見える化プログラム」の導入による改善支援と県域における水平展開
- (3) 県域JAが取り組む営農・経済事業改革プロジェクト等への参画、および現場での継続的な支援
- (4) 「農家手取り最大化実践メニュー」の実践や、講習会・研修会を通じた人材育成

海外戦略の構築

1. 輸出事業の拡大とオールジャパンでの輸出体制の構築
 - (1) 海外展開を積極的にすすめる他企業との連携強化によるマーケットイン型の輸出事業の確立
 - (2) 海外拠点の拡充や産地間リレーの実践、eコマースの活用
2. 資材・原料の安定確保
 - (1) 原料産地の多元化による肥料原料の安定確保
 - (2) 米国・ブラジル・カナダの関連会社を通じた現地での穀物集荷・調達の拡大

事業運営・経営管理

- (1) グループ会社間の業務連携や集約・再編
- (2) 国産農畜産物の消費拡大に向けた情報発信や、食農教育の実践
- (3) コロナ禍の感染予防対策と事業継続体制の維持

自然災害・重要家畜疾病からの復旧・復興

- (1) 営農再開への支援と災害等に備えた態勢整備
- (2) 豚熱(CSF)や高病原性鳥インフルエンザ等の重要家畜疾病の拡大防止に向けた防疫対策支援



石川県本部 令和3年度事業計画

I. 重点施策

石川県本部では、今次3か年(令和元年度～3年度)計画において、「農業生産の拡大」、「販売力の強化と県内産農畜産物の消費拡大」、「トータルコストの低減」、「JA事業への支援拡充」、「事業シェアの拡大」の5項目を重点施策と位置付け、事業別目標の達成に向けて取り組んでいるところです。

令和3年度は、3か年計画の最終年として、2年度の実績見通しや、国内外の農業情勢や事業環境の変化を踏まえ、施策・行動計画の補強・追加や体制の強化策を織り込み、3年度計画へ反映させることとします。

特に、JA資金運用の悪化や人口減少・高齢化社会の到来による事業環境の悪化が懸念されるなか、県中央会が令和2年1月に策定した「持続可能なJA経営基盤の確立・強化にかかる取組み方針」に基づく事業別支援策を着実に実践していきます。

【農業生産の拡大】

(米穀)

- ア. 水田フル活用による主食用米・水田活用米穀および麦・大豆の需要に応じた計画生産を推進します。
- イ. 行政と連携し、県産米・麦・大豆の取量・品質向上の取り組みを強化します。

(園芸)

- ウ. JAグループ石川営農戦略室と連携した園芸品目の「新産地づくり」、「既存産地の拡大」の推進、および本会圃場で実証した園芸経営モデルの普及に取り組みます。

(畜産)

- エ. 生産基盤拡大と担い手生産者の育成に向け、行政と連携して、能登牛や養豚農家の規模拡大と生産性向上を支援します。
- オ. 能登牛肥育実験農場での研修受入等、新規就農者の育成を支援します。
- カ. 能登牛の肥育実験農場、実証展示事業のGAP基準での運営改善と増頭・増体に取り組みます。

【販売力の強化と県内産農畜産物の消費拡大】

(米穀)

- ア. 実需者とJAを結び付けた事前契約の拡大に取り組むとともに、県産米の売場拡大に向け、販促キャンペーン等を継続的に展開します。
- イ. 大規模生産者への集荷推進を強化し、共販率向上に取り組めます。
- ウ. 米心石川との協調集荷・販売を継続し、販売先への安定供給に努めます。
- エ. 契約栽培による「ひゃくまん穀」の生産拡大および販路拡大に取り組めます。

(園芸)

- オ. 県産青果物の売場確保・拡大のため、直販や契約的取引の拡大に努めます。
- カ. 宣伝対策の強化により、石川オリジナル品目のブランド確立に取り組めます。

(畜産)

- キ. 能登牛・能登豚のブランド化を推進し、有利販売をはかるとともに、付加価値加工品の取扱いを拡大します。
- ク. 食肉センター・精肉パックセンターでHACCPに準拠した衛生管理を実践します。

(米穀・園芸・畜産)

- ケ. 直営飲食店やグループ店舗を活用した県産農畜産物やJA加工品の継続的PRと、eコマース(JAタウン)による効果的な宣伝対策の実施により、県産農畜産物の消費拡大をはかります。



【トータルコストの低減】

(営農、肥料・農薬)

- ア. 農家手取最大化モデルJ Aで実践したトータルコスト低減技術や、大規模営農モデルで実証した技術の水平展開に取り組みます。
- イ. 農業ICTやドローン等の最新技術を活用した省力化・増収技術等の水平展開に取り組みます。
- ウ. 2年3作体系による水田フル活用を推進します。
- エ. G A Pの普及・推進に取り組みます。
- オ. 省力化技術・資材および担い手生産者のニーズに対応したコスト低減資材の普及拡大をはかります。
- カ. 肥料、水稲除草剤・箱施薬剤の結集銘柄を設

定しコストの低減に取り組みます。

- キ. メーカー工場から担い手生産者に直送する大型規格農薬の拡大に取り組みます。

(農機)

- ク. 担い手生産者の省力化、効率化に繋がるICT対応農機の活用提案強化による導入促進に取り組みます。
- ケ. 低価格モデル農機の普及推進に取り組みます。
- コ. 中古農機の取扱拡大に取り組みます。

(燃料、自動車)

- サ. 営農用燃料油、営農用車両の価格対策を実施するとともに、軽油免税制度の普及推進をはかります。

【J A事業への支援拡充】

(米穀、営農、肥薬、農機)

- ア. 担い手生産者への米集荷・生産資材の一斉推進を支援します。

(米穀、園芸、施設)

- イ. 米穀共同乾燥調製施設の有効利用による収支改善、及び、既存園芸選果施設の基幹化を提案します。

(営農)

- ウ. J Aと連携して労働力確保等支援の仕組・態勢構築を図ります。

(肥料農薬)

- エ. J A配送コスト削減に向け、農家戸配送の拡大に取り組みます。

(J Aグリーン)

- オ. 店舗経営分析データ活用により、店舗の特性に合った形態の見直しを提案し、売場改善、産

直品の品揃え拡大等に向けた取り組みを支援します。

(農機)

- カ. J A農機事業の運営基盤強化に向けJ Aと全農の一体運営に取り組みます。

(燃料)

- キ. J A燃料事業の経営基盤強化に向け、燃料事業の受託・譲受等を提案します。
- ク. S S過疎地域におけるライフラインとしての拠点S S維持対策を実施します。

- ケ. J A-L Pガス事業の保安高度化に向け、安全化システムの普及促進、J Aの保安体制の強化に取り組みます。

(自動車)

- コ. 本会とJ Aの整備工場の集約を支援し、自動車整備事業の受入体制の強化に取り組みます。

【事業シェアの拡大】

(米穀)

- ア. J A未利用者・低利用者からの集荷率向上に向け、生産ニーズと実需者ニーズの結び付き等を強化します。

(肥料・農薬)

- イ. T A Cと連携した担い手生産者への推進を強化するとともに、J Aとの協議に基づく担い手生産者対策を実施します。

- ウ. 結集銘柄等への集約と優位性ある価格設定により、系統品目の普及拡大に取り組みます。

(農機)

- エ. 農業機械の購買対策を強化するとともに、T A Cと連携した未利用担い手生産者への利用推進と切替対策に取り組みます。

(燃料)

- オ. 基幹S Sの総セルフ化、有力商圈における新規出店およびJ A-S Sの運営力強化に取り組みます。

- カ. J A-L Pガスハートキャッチ活動、給湯器・ファンヒーター・衣類乾燥機の燃転推進活動および大口需要家の獲得推進を強化します。

- キ. J Aでんきの提案・推進に取り組みます。

(自動車)

- ク. J A自動車事業の推進力強化と重点銘柄車のキャンペーン展開に取り組みます。

- ケ. 売れ筋車両の品揃え拡充により中古車販売を強化します。

Ⅱ. 石川県本部における事業別実施具体策

米穀事業

水田フル活用による生産振興とJAグループによる一元集荷・一元販売の推進

【水田フル活用による生産振興】

- ①水田フル活用による主食用米・水田活用米穀・麦・大豆等の計画生産の推進
- ②水田活用米穀の需要確保と一体的取組の継続
- ③麦・大豆の作付拡大および単収向上

【安定価格・安定供給のための一元集荷】

- ④米心石川との連携強化と集荷体制の強化による共販率の向上
- ⑤担い手生産者に対する集荷推進の強化およびフレコン集荷の拡大
- ⑥本会の連合農業倉庫を活用したフレコンおよびルート集荷の拡大と、共同計算流通経費の削減

【販売力の強化と消費拡大】

- ⑦JAと実需者の結付き販売の拡大とJA・実需者を含めた事前契約の拡大
- ⑧県産米の販促キャンペーン等の消費拡大イベントの実施
- ⑨品質・食味向上対策の強化等による県産米のブランド力向上
- ⑩生産者部会と連携した「ひゃくまん穀」の生産拡大と安定販売
- ⑪輸出米の拡大

【JA事業への支援拡充】

- ⑫JA未利用者・低利用者への推進強化によるJA集荷の拡大
- ⑬共同乾燥調製施設のJA間相互利活用の促進

園芸事業

園芸作物の生産拡大および販売力の強化

【園芸作物の生産拡大】

- ①JAグループ石川営農戦略室と連携した「新産地づくり」と「既存産地の拡大」推進
- ②JA域を跨ぐ効率的な集出荷体制の構築
- ③本会圃場での園芸経営モデルの普及
- ④生産拡大と連動した園芸種苗センターにおける優良種苗の安定生産

【販売力の強化と消費拡大】

- ⑤直接販売および重点市場と連携した実需者との契約的取引の拡大
- ⑥県産青果物フェア等による消費拡大・宣伝対策の強化

- ⑦石川県オリジナル品目（ルビーロマン、加賀しずく、エアリーフローラ、のとてまり）のブランド化推進

【生産コストの低減】

- ⑧材質・形状の見直しや規格集約による段ボール資材のコスト低減

【物流コストの低減】

- ⑨青果物でのパレット物流の拡大支援

【JA事業への支援拡充】

- ⑩既存園芸選果施設の基幹化提案

畜産事業

畜産生産基盤の維持・拡大に向けた取組みと食肉販売事業の強化

【畜産生産基盤の維持・拡大】

- ①能登牛・能登豚の担い手生産者への生産拡大および生産性向上の支援強化
- ②能登牛の肥育実験農場・実証展示事業のGAP基準での運営改善と増頭・増体
- ③能登牛肥育実験農場での実地研修受け入れ等による新規就農者育成支援
- ④能登牛認定店の拡大等による有利販売先の確保

【販売力の強化と消費拡大】

- ⑤食肉の提案型営業による新規顧客獲得と既存取引先への拡販
- ⑥能登牛、αのめぐみ等の県産ブランド肉の推進強化による取扱拡大
- ⑦食肉センター、精肉パックセンターのHACCPに準拠した衛生管理の実践
- ⑧広域販売も視野に入れた新たな包装肉拠点の整備
- ⑨コロナ禍に対応したより一層の県産食肉消費拡大対策の実施



営農対策

土づくりの励行による品質・収量向上と トータル生産コスト低減への取組み強化

【農業生産の拡大】

- ①「うまい・きれい石川米づくりプラスワン運動～石川米ブランドの確立～」を柱とした県産米の品質・収量向上運動の実践
- ②「ひやくまん穀」の収量確保に向けた技術の普及
- ③土づくり資材の施用率向上

【トータルコストの低減】

- ④手取最大化モデル J A でのトータルコスト低減技術、および大規模営農モデルでの実証技術の水平展開
- ⑤ Z-GIS 等による農作業の見える化と、ドローン、可変施肥田植機等の ICT 技術を活用した省力化・効率化の推進

- ⑥ 2年3作体系の取組農家・面積の拡大および大豆・大麦の増収技術普及

- ⑦ GAP の普及・推進

【J A 事業への支援拡充】

- ⑧ J A と連携した労働力確保等支援態勢の構築
- ⑨ 米穀部門と連携した担い手生産者への推進強化による J A 集荷の拡大支援
- ⑩ T A C 推進体制の強化支援、および J A 未利用担い手生産者への推進支援

肥料・農薬事業

生産資材トータルコストの低減推進と農家戸配送体制の整備による J A 支援の強化ならびに事業シェアの拡大

【トータルコストの低減】

- ①省力化技術・資材および担い手生産者のニーズに対応したコスト低減資材の普及拡大
- ②肥料、水稲除草剤・箱施薬剤の結集銘柄の推進強化
- ③メーカー工場から担い手生産者に直送する大型規格農薬の拡大

【事業シェアの拡大】

- ④ T A C と連携した担い手生産者推進の強化と J A との協議に基づく対策の実施

- ⑤結集銘柄等への集約と優位性ある価格設定による系統品目の普及拡大

- ⑥ J A グリーン産直販売拡大のための店舗間物流の強化

【J A 事業への支援拡充】

- ⑦ J A の配送コスト削減に向けた農家戸配送の拡大
- ⑧ J A グリーン店舗形態の見直し

農機事業

担い手生産者のコスト低減支援、購買対策の強化による取扱シェア拡大 および J A グループ農機事業の運営体制の強化

【トータルコストの低減】

- ①省力化、効率化に繋がる ICT 対応農機等の活用提案の強化
- ②中古農機の取扱拡大
- ③機能を絞った低価格モデル農機の普及推進

【事業シェアの拡大】

- ④主要農機の早期予約拡大策の強化
- ⑤推奨型式の取扱拡充
- ⑥ T A C と連携した未利用担い手生産者への推進と切替対策の実施

【J A 事業への支援拡充】

- ⑦能登北部地区における J A と全農の一体運営の稼働と他地区への拡大提案
- ⑧ J A 担当者の技術・知識及び意欲向上に向けた研修・コンテスト等の実施
- ⑨安全講習会の開催促進



建設事業

J Aに対する計画的に施設投資の提案

【J A事業への支援拡充】

- ① J A 共同利用施設に対するコンサル機能の発揮
- ② J A 域を超えた施設整備の検討・提案

燃料事業

J A - S S 運営力強化と J A ガス事業の保安体制強化等による取扱高シェア拡大および J A グループ燃料事業の基盤強化

【事業シェアの拡大】

- ① J A - S S のセルフ化推進と有力商圏における新規出店
- ② 柔軟な価格対策とチェーン会を軸としたイベント・キャンペーン等の実施
- ③ J A と連携した未利用農家への営農用燃料推進の強化
- ④ 給湯器・ファンヒーターによる燃料転換推進の強化
- ⑤ 電気事業（J A でんき）の普及推進

【J A 事業への支援拡充】

- ⑥ S S 過疎地域における拠点 S S 維持対策の実施
- ⑦ ガス安全化システムの普及促進と保安指導強化による法令遵守徹底
- ⑧ J A 域を超えた灯油の配送受託による輸送コストの低減
- ⑨ 燃料事業の受託や譲受等、運営体制の整備による J A 経営基盤の強化

【トータルコストの低減】

- ⑩ 営農用燃料油の価格対策の実施と軽油免税制度の普及推進

自動車事業

ターゲットを明確にした拡販対策の実施による取扱シェア拡大

【事業シェアの拡大】

- ① 重点販社銘柄や、シニア向け、次世代組合員向け等ターゲットを明確にした拡販対策の実施
- ② 売れ筋車両の品揃え拡充による中古車の販売拡大

【J A 事業への支援拡充】

- ③ 研修・コンテスト実施による C S 向上、業務改善、整備士のレベルアップ

- ④ メンテナンスパック等、顧客固定化・利用拡大対策の J A への導入促進
- ⑤ 販売・整備拠点の集約による事業の維持・強化

【トータルコストの低減】

- ⑥ 営農用車両の価格対策の拡充

管理部門

全農グループ全体の事業運営力強化とコンプライアンス・リスク管理の徹底および県産農畜産物の消費拡大対策の継続実施

【事業運営力の強化】

- ① 効果的な教育研修による職員のレベルアップ
- ② 計画進捗管理の徹底と進捗状況の全農グループ全体での共有化
- ③ 子会社・関連会社等の管理・支援の強化

【コンプライアンス・リスク管理の徹底】

- ④ コンプライアンス・リスク管理意識の高揚に向けた継続的な研修の実施
- ⑤ 巡回による食品表示、労災等の重要リスクへの対応強化

- ⑥ 労務管理の徹底と業務改善等による労働時間の削減

【広報・宣伝活動の充実】

- ⑦ 県産農畜産物の効果的宣伝対策の取組み充実
- ⑧ 子会社と連携した J A 加工品の販路拡大支援の強化
- ⑨ J A ならびに直営飲食店・焼肉弁当店舗・子会社店舗と連携した情報発信の強化

開発
広報課

J A全農杯 全国小学生選抜サッカー大会 IN 北信越

令和3年3月13日(土)～14日(日)、J A全農杯全国小学生選抜サッカー大会 IN 北信越が、金沢市民サッカー場で開催されました。本大会は日刊スポーツ新聞社、一般社団法人北信越サッカー協会が主催、J A全農が特別協賛となり、子どもたちがサッカーを通じて身体を鍛え、フェアプレーの原点である、リスペクト「大切に思うこと」の精神を養い、正しく強く、そして創造力豊かな人間の育成を目指すことを目的に実施されました。参加チームは各県サッカー協会主催の予選会で勝ち抜いたチームで、北信越各県2チームと、主催県4チームの計12チームが熱戦を繰り広げました。決勝では、松本山雅FC(長野県代表)がGRANZAS(富山県代表)との激戦を制して優勝を決めました。

表彰式では、当県本部の松本副本部長より、副賞の「ひやくまん穀おこげせんべい」や「ひやくまん穀パックご飯」が優勝チームへ贈呈されました。



決勝戦の様子



優勝した松本山雅FC



優勝チームへの副賞贈呈の様子



園芸課

エアリーフローラ ～旅立ちを祝う花、花言葉は「希望」～

エアリーハッピーウィークエンドの開催

令和3年1月30日(土)～31日(日)の2日間、イオンモール新小松店にてエアリーフローラのアレンジメント教室やエアリーフローラオブジェを巡るスタンプラリー、フォトスポットの設置を実施しました。両日とも大盛況で、中でもアレンジメント教室は早々に満席となり、大人から子供まで、アレンジメントを楽しんでいました。



アレンジメント教室を受講する人の列



エアリーフローラオブジェのスタンプラリーを楽しむ親子

オンライン・アレンジメント教室の開催

令和3年2月7日(日)、今年初の試験的な試みとして、オンラインでのアレンジメント教室を開催しました。

当日、講師は金沢港クルーズターミナルでアレンジメントを実演、テレビ会議システム(ZOOM)を通して、自宅にいる参加者にアレンジメントの指導を実施しました。

当日の様子は、右記URLからご覧いただけます。

YouTube



Facebook



県内の小学校にエアリーフローラを!

石川県内の全小学校約200校のうち、希望のあった173校に、アレンジメントを展示しました。

生花店もきれいなエアリーフローラを生徒達に見てもらおうと、生産者の方々が手間暇かけて育てたエアリーフローラを心待ちにしていました。

また、県内の小学校の卒業生約1万人のうち、希望のあった約7,500人にエアリーフローラを一輪ずつ贈呈する試みもあり、卒業生達の卒業を祝う花として、そしてこれからの希望に華を添えます。



小松市安宅小学校玄関にて

*エアリーフローラ

石川県産オリジナル品種のフリージアで、その名前には「優雅な春の女神」という意味が込められています。開花の最盛期が卒業や入学など新たな旅立ちの時期と重なることから、キャッチフレーズは「旅立ちを祝う花」、そして、花言葉は「希望」。フリージアといえば黄色が一般的ですが、エアリーフローラは現在、11色で展開しています。

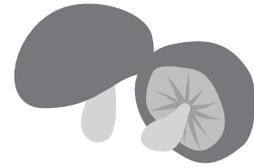




園芸課

能登原木しいたけ「のとてまり・のと115」 ～能登の自然が育んだ最高級椎茸～

穴水高校「のとてまり」初競り @金沢市中央卸売市場



県立穴水高校の生徒が栽培した「のとてまり」が、令和3年1月30日(土)、金沢市中央卸売市場で競りにかけられ、1箱8玉入が119,200円の過去最高値で競り落とされました。

穴水高校では、「のとてまり委員」の生徒が主体となって奥能登原木しいたけの栽培に取り組んでおり、今年で9年目となります。今年度は新型コロナウイルスの影響により、生徒達は市場に来ることはできませんでしたが、代表生徒2名がリモートで市場関係者に向けたPRを実施しました。競り落とされた「のとてまり」は、加賀屋グループ「金沢茶屋」さんにご購入いただきました。



奥能登原木しいたけ「のと115」 おいしくカンタン料理教室



Web料理教室のライブ配信を実施

令和3年2月20日(土)、金沢勤労者プラザにて、奥能登原木しいたけ「のと115」を使用したオンライン料理教室が開催されました。料理研究家のしもおきひろこさんとMCの的場綾香さんをお招きし、参加者とともに「のと115と鮭の味噌バター蒸し」、「のと115と海老のあんかけ焼きそば」の計2品を調理しました。

2品とも、手軽に短い時間で作ることができるため、参加者達からも好評で、何よりも、「のと115」の味わい深さはとても喜ばれました。



オンライン料理教室
動画はこちらから!!!



のと115・のとてまりFacebook
アカウントもよろしくおねがいします!

Facebook
「能登原木椎茸の
とてまり・のと115」



能登原木椎茸
のとてまり
Noto 115



能登原木椎茸
のと115



米穀課・
TAC営農推進課

令和3年産向け 各地区「ひやくまん穀」生産者大会を開催

TAC営農推進課及び米穀課では3月、各地区において「ひやくまん穀」生産者大会を開催し、生産者部会部会員、JA、県（ブランド戦略推進室・中央普及支援センター・各地区農林事務所）が令和3年産に向けた「ひやくまん穀」の生産販売対策及び部会活動方針を共有した。「ひやくまん穀」生産者部会では一般栽培開始当初より、県内の部会員を一堂に会した大会を開催してきたが、部会員数規模の拡大と会場の物理的制約、またコロナ禍の情勢に鑑み、今年度は県内に5つある支部あるいはJAごとの開催を基本とした。大会は生産者部会が主催し、同部会事務局及び米新品种「ひやくまん穀」普及推進委員会事務局が共催した。

各地区では、2月16日に開催された令和2年度第2回米新品种「ひやくまん穀」普及推進委員会において今後の生産販売方針が承認されたことを踏まえ、3月2日のJA志賀を皮切りに、3日にJA能登わかば、5日にJA石川かほく、10日にJAはくい、12日にJA内浦町・すずし合同、17日にJA白山、18日にJAおおぞらの管内で大会を開催した。他地区については新型コロナの地域的な感染状況を踏まえ開催を見送ることとし、開催を見送った地区の部会員、また開催した地区で欠席した部会員宛に対する大会の内容については、資料を含め部会長から部会員宛のメッセージとともに配布を進めている。

大会の中では、県全体の作付面積を前年比247ha増の1,700ha、出荷量は大台の1万トンとする目標を示すとともに、生産者の所得向上を目指すことを理念に掲げた生産販売方針の下、土づくりを基礎とした収量品質の高位安定に向けた栽培対策、また大口実需者との安定取引獲得に繋がっている県下一丸となった販売方針の継続について事務局から説明した。

TAC営農推進課では、今後も関係部署・組織と連携し、県内生産者の所得向上に繋がる取組みの目玉として、継続してひやくまん穀の生産振興を図ってまいります。



TAC
営農推進課

令和2年度 TAC・JA施肥防除合理化モニター協議会 研修会

1月28日（木）、TAC営農推進課では令和2年度TAC・JA施肥防除合理化モニター協議会の研修会を開催しました。県内各JAの営農指導員やTAC、肥料・農薬メーカー関係者、本会職員の約40名が参加しました。本協議会では、各JAの営農指導員やTACが、管内における施肥防除の課題を抽出し、その課題を解決するために肥料農薬等の資材や技術を選定、生産者の協力を得て実証に取り組んできました。

研修会では、各JAの担当者より、担い手青年部会と連携した水稻新品種におけるオーダーメイドBB肥料の開発や、雑草や病害虫をより省力に防除できる新剤の実証等について結果発表を行い、その成果を共有しました。

また、発表後には石川県農林総合研究センターの猪野担当課長より「令和2年産米の生育概況と次年度対策」の講演や、全農県本部TAC営農推進課の折戸係長より「With コロナにおけるJA事業のDXの必要性和事例」について説明、参加者は熱心に聞き入っていました。

協議会では本年度の取組み結果を踏まえ、次年度以降に向けて、農業者の課題解決や所得向上、そしてJA事業の強化につながる取組みを進めてまいります。



肥料 農薬課

農産物直売所創意工夫陳列キャンペーンの開催

本キャンペーンは、農産物直売所での消費者へのPR強化と売り場活性化による実績拡大を目的に、令和2年8月31日(月)～10月31日(土)まで実施されました。

各直売所は、対象商品「エコープ ほめられ酢」による売り場づくりを行い、全農本所により18県47店舗の審査が実施されました。審査項目は、①商品の訴求点がPRされているか、②量感があり、かつ、取りやすい陳列となっているか、③独創的な陳列で店舗従業員の創意工夫と熱意がみられるか、の3項目で、最優秀店舗にJAおおぞらの「能登おおぞら村穴水」とJAはくいの「JAグリーンはくい」、さらに優秀店舗には、JA加賀の「JAグリーン加賀 元気村」が選出されました。

最優秀店舗、優秀店舗の直売所には、ディスプレイラック等景品が贈呈され、売場作りのノウハウ共有を目的に発行されている「JAファーマーズマーケットニュース」に掲載されます。



最優秀賞を受賞した
「能登おおぞら村 穴水」



最優秀賞を受賞した
「JAグリーンはくい」

農機 施設課

農機お買得市の開催

3月4日(木)～3月6日(土)の3日間、農機施設課特設会場において、農機お買得市を開催しました。今回も、コロナ感染防止策として、バスによる動員を控え規模を縮小して開催しましたが、200名近くの方に来場いただきました。

会場では、トラクター・田植機・コンバインを中心とした中古農機や旧型・実演機を多数展示し、多くの成約をいただきました。

また、会場の入口に展示した全農共同購入トラクター(SL33)には、多くの来場者から問い合わせをいただくなど大きな注目を集めていました。

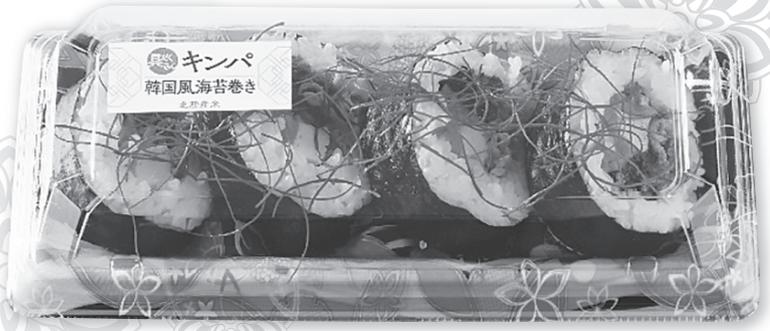
今後も中古農機の品揃え、低価格モデルトラクターの推進等を強化していきたいと考えておりますので、ご協力の程宜しくお願い致します。



韓国風海苔巻き 「貝だくさん キンパ」

(株)米心石川より新商品が登場！

たっぷりの自家製具材が入った、
ごま油の風味が絶妙なオリジナル
キンパです！！
子供から大人まで
お召し上がりいただける
商品となっております。
是非、ご賞味ください。



Beishin
おこめ
キッチン
Beishinおこめキッチン
金沢駅「あん」と店
TEL. 076-208-3119
営業時間 8:30~20:00



「つくる」と「たべる」のあいだに。

株式会社 米心石川

JAホーム 新築住宅のご紹介



「おしゃれなカフェ風のキッチン ナチュラルでかわいい家」

■ 素材や色合いにこだわった統一感のあるキッチン

LDKの主役はカフェ空間のようなキッチンです。木調の天井とカップボードが温かみを演出し、モルタル調の壁にブラックで統一したペンダントライトとハンドルが空間を引き締めます。カウンターは朝食をとる子どもと会話を楽しんだり、勉強やスキマ時間を過ごすみんなのフリースペースになります。おしゃれなキッチンを中心に、家族団らんを楽しむ生活が始まります。

1. キッチン笠木の高さを抑えることでLDKとの一体感をつくる
2. 木目や色合いの違う木・モルタル調を組み合わせたキッチン
3. 建具にナチュラルで優しいカラーを使用し落ち着いた空間に
4. メモ・子どもの作品を貼れる壁を利用したマグネットボード

新築・リフォームのご相談はJAホームまで
(株)JA建設エナジー 住宅課

TEL 076-240-5441 HP <http://www.jahome.jp/>





石川県のブランド和牛『能登牛』と
大粒で冷めても美味しい『ひやくまん穀』を
使用したここにしかない
こだわりのお弁当を販売。
おうちや外出先での
ちょっと贅沢な食事にぴったりです。

能登牛

《焼きたて》

能登牛焼きたてサーロイン重

3,280円

能登牛焼きたて「極み」弁当

2,480円

能登牛焼きたて弁当

1,980円

能登牛串焼き

1,080円



ひやくまん穀

《作り置き》

能登牛焼肉と
牛そぼろ弁当

1,580円



能登牛しぐれ煮と
玉子そぼろ弁当

1,280円



能登牛
押し寿司

1,580円



能登豚
焼肉弁当

1,280円



能登豚焼肉と
加賀蓮根入り豚そぼろ弁当

1,080円



能登豚
生姜焼き弁当

980円



※表示価格はすべて税込みです

《お弁当の予約注文承ります》

TEL.076-254-0193



金沢百番街あんと内

ひやくまんぞく亭

全農



3.19
OPEN!

能登牛 × ひやくまん穀

焼きたて能登牛と、ふっくら大粒の食べごたえが特徴の
ひやくまん穀をたっぷり詰め込んだひやくまんぞくのお弁当を
新発売いたします。

JA全農いしかわ直営 能登牛焼肉弁当店



ひやくまんぞく亭

全農



能登牛焼きたて弁当は
注文を受けてから焼いています！



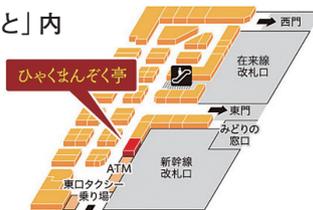
ひやくまんぞく亭の詳細は
こちらをご覧ください！



住 所
金沢百番街「あん」と内

営業時間
8:30~20:00

電話番号
076-254-0129



私たち全農グループは、
**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**
になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

発行所/全国農業協同組合連合会 石川県本部
管理部 開発広報課
〒920-0383 金沢市古府1丁目220番地
TEL (076) 240-5371 FAX (076) 240-5319
http://www.is.zennoh.or.jp